

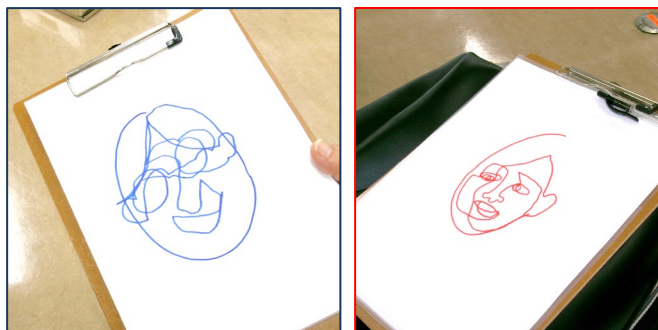
令和 8 年度「居場所づくりの ABC 2026」step1 実施報告書

講座名	居場所づくりの ABC2026 step1(第1講)
開催日・時間	令和 8 年 10 月 3 日(土)10:00~14:00
会場	みどりーむ
参加者	受講生 10 名(欠席者あり) NPO、事務局
講師	竹迫 和代さん(ファシリテーター)
事務局	地域力推進担当
ナビゲーター	NPO 法人霧が丘ぷらっとほーむ(根岸・武藏)

1. 講座の様子

step1 では、参加者が最初は緊張した面持ちであったが、プレ講座から半数の方が本講座へ申込されていたこともあり、声を掛け合う姿も見られた。

アイスブレイクでは、受講生がペアになり相手の顔を見つめながら一筆描き(紙や手元は見ないルール)で相手の似顔絵を描く「誰でもピカソ」からスタート。名作が生まれた。



続いては、他己紹介。お互いの質問のやり取りで、互いの共通点を探して相手を紹介するというもの。初対面であっても会話が弾み、安心して過ごせる場の雰囲気が生まれた。受講生は円形で(椅子のみ)全員の顔が見えるという設営スタイルも効果的であったと思う。

受講生は、これまでの経験や思いを語り合い、共有することで「自分の想い」「自分は何をやりたいのか」を考える時間となった。

2. 参加者の様子・反応

- ・参加者それぞれが、自分の経験や地域で感じていることを話すことができた。
- ・参加者同士の話を聞くことで、新たな気づきや共感が生まれていた。
- ・「居場所」について、自分自身の身近な経験と結びつけて考える様子が見られた。

3. 運営側の振り返り

今回の Step1 を通して、受講生が安心して話せる雰囲気をつくることの大切さを改めて感じた。また、受講生それぞれが持っている経験や思いを共有することで、同じテーマでもさまざまな視点があることを知る機会となった。

一方で、参加者がより話しやすくなるための時間の取り方や、意見を引き出す進行については、今後さらに工夫していきたいと思う。

4. 次回に向けて

今回の振り返りを踏まえ、次回も受講生同士が安心して話し、互いの経験や考えを共有できる場づくりを大切にしていきたい。

Step1 で生まれた気づきやつながりを次のステップにつなげていけるようサポートしたい。

受講生自身が地域の中で「このような繋がり方があるのだな」「居場所を持つだけが居場所ではないのだな」と様々な「居場所」に出会えるように講座を進めていきたいと思う。

【当日の様子】



円になってスタート



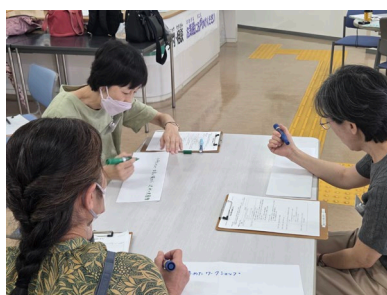
竹迫さんの講義スタート



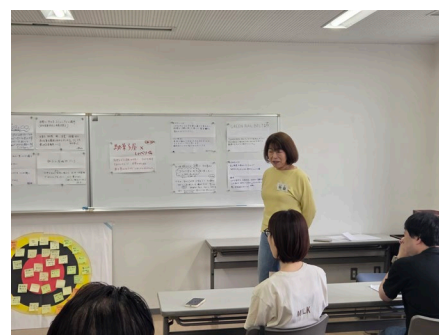
他己紹介



アイスブレイク「誰でもピカソ」



自分の想いを書いてみます



午後はそれぞれのやりたいことを発表